

コントレーサ（輪郭形状測定機） 一括校正方法

（測定前の日常点検。）

対象機種：コントレーサ（輪郭形状測定機）

CV-3100S4、CV-3100H4、CV-3100W4

CV-3100S8、CV-3100H8、CV-3100W8

CV-3200S4、CV-3200H4、CV-3200W4

CV-3200S8、CV-3200H8、CV-3200W8

FTA-S4D3000-D、FTA-H4D3000-D、FTA-W4D3000-D、FTA-L4D3000-D

FTA-S8D3000-D、FTA-H8D3000-D、FTA-W8D3000-D、FTA-L8D3000-D

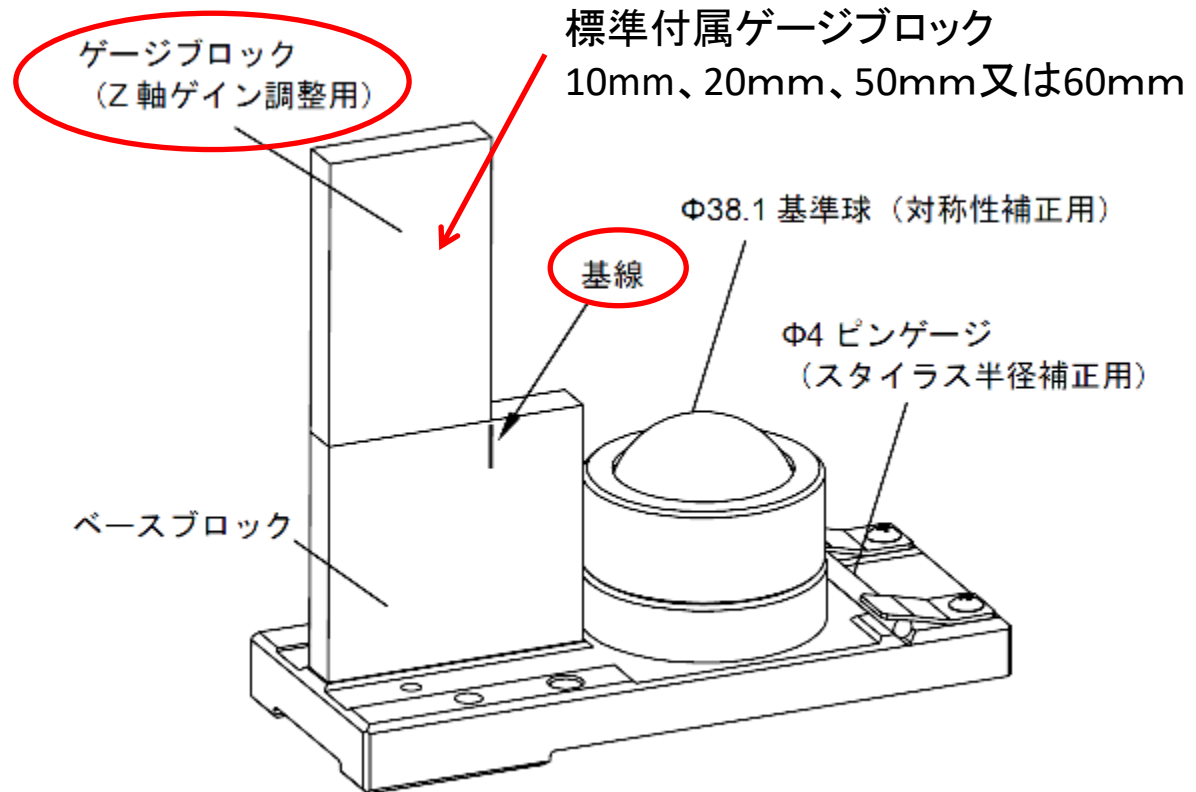
FTA-S4C3000-D、FTA-H4C3000-D、FTA-W4C3000-D、FTA-L4C3000-D

FTA-S8C3000-D、FTA-H8C3000-D、FTA-W8C3000-D、FTA-L8C3000-D

校正前の準備（校正キット）

ゲージブロックの端面を基線の位置に合わせてリンクングしてください。

※小穴スタイラス使用の場合は10mmのブロック
ゲージを使用してください。



校正キットを十字動テーブル、もしくは高さが46mm以上あるブロックに設置してください。

X軸の位置を100mmストロークなら58~60mmの位置にしアームを中間HOLDで真ん中の球の中央(前後、左右)にスタイラスを接触させアームをFREEにしてください。(校正開始位置)

X軸の位置を200mmストロークなら100±10mmの位置にしアームを中間HOLDで真ん中の球の中央(前後、左右)にスタイラスを接触させアームをFREEにしてください。(校正開始位置)

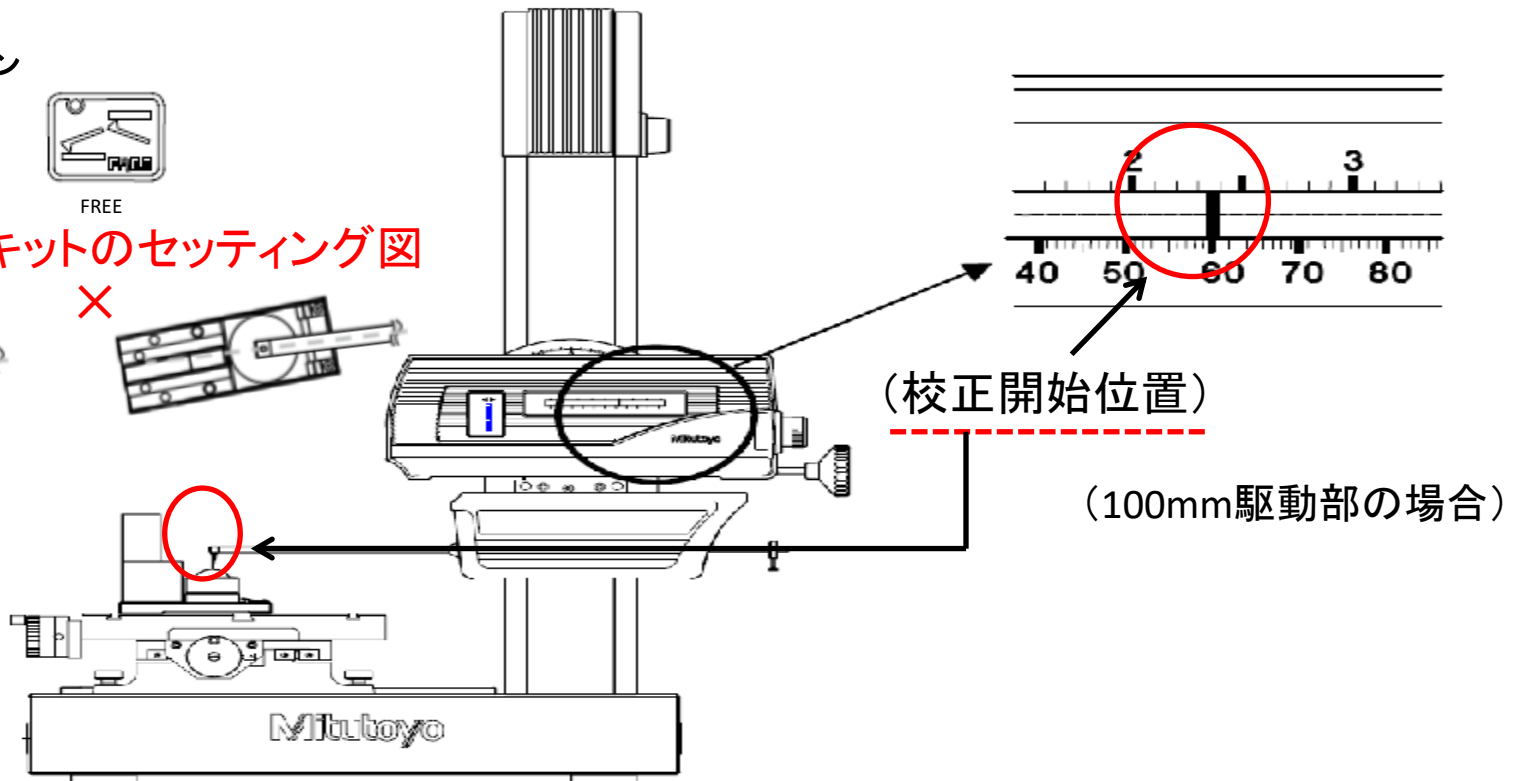
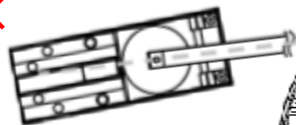
リモートボックスボタン



本体:校正用キットのセッティング図



×



1.(測定)→(一括校正)の順にクリック⇒(一括校正画面)表示

2.(Z軸ゲイン調整をする)に✓(基準段差)にリンクしたゲージブロックのサイズ(60,50,20,10)mmを入力(小穴スタイラスの場合は必ず10mm使用)

※変更の際は数字の部分をクリックし数字入力してください。

3.(対称性校正測定をする)に✓(直径)に基準半球の直径値(38.1)を確認。違う場合は(38.1)入力

4.(スタイラス径補正測定をする)に✓を付ける。

5.(●ピンゲージ)、(直径)に校正キットに記載されている公称値を入力する。

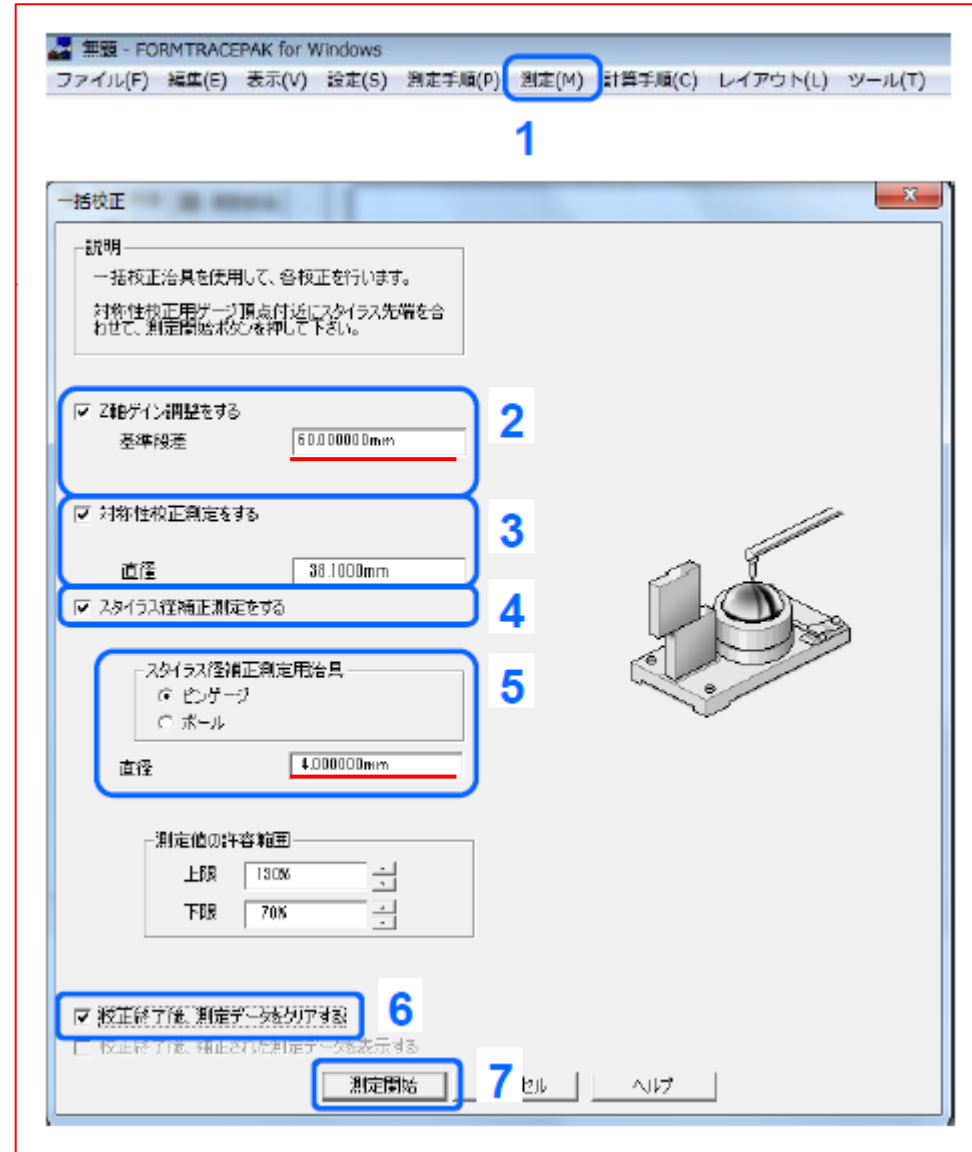
※変更の際は数字の部分をクリックし数字入力してください。

6.校正終了後、測定データをクリアする。に✓を付ける。

7.(測定開始)をクリック

一括校正が始まります。半球を少し測定し、GBの測定が始まります。次に半球の測定、ピンゲージの測定が終わると測定が終了です。

終了まで約7分かかります。



一括校正結果登録のコメント欄を入力すると校正履歴に反映され記録として残ります。

※コメント欄の部分をクリックし入力してください。

入力しなかった場合、校正した年月日、時間が記録されます。

8.(OK)をクリック

一括校正終了。

※エラーが出た場合

※対称性補正でエラーが出た場合

機器設定のアームとスタイラスの設定を確認してください。



機器設定の変更、スタイラスの付け替えを行った場合は1、から一括校正を行ってください。

※スタイラス半径でエラーが出た場合

スタイラスの先端の摩耗、欠けの可能性があります。スタイラスを新しいものに取り換えてください。

1、から一括校正を行ってください。

校正終了後の校正キットの取り外し方 リモートボックス

- ①  キーを押し、スタイラスを退避する。
- ②  キーを数回押し、【 Z 】のみLEDを点灯させる。
- ③ 校正キットを取り出すときにスタイラスやアームと接触しないように、ジョイスティックで検出器をZ軸方向移動させる。
- ④ リンキングしたGBを取り外し、校正用キットを取り外す。

